

平成26年度自己評価表

ケイセンビジネス公務員カレッジ

1 教育目標

- (1) 人づくりを通じて社会に貢献する。
- (2) 学生の夢を実現させる。
- (3) 社会に有用な人材を育成する。

2 基本方針

- (1) 学生の「夢」実現のため、本校の強みである「厳しく、優しく、ていねい」な指導により、学生の早期自立を図り、公務員合格率及び就職内定率の向上を図る。
- (2) ふるさと福島の復旧・復興を担う若者の養成に努める。
- (3) 指導力の向上と速やかに実行するために行動する。

3 今年度の重点目標

- (1) 「しっかりしたあいさつ」のできる学生・職員をつくる。
- (2) 公務員合格率の向上
- (3) 就職内定率の向上
- (4) 入学者・在籍者の確保
- (5) 迅速な行動により速やかに結果を出す。
- (6) 報告・連絡・相談の徹底による情報の共有化

4 評価項目の達成、取組状況

- (1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・育成人材像は定められているか。	4・3・2・1
学校における職業教育の特色は理解されているか。	4・3・2・1
社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	4・3・2・1

(評価 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)

ア 課題

本物のビジネスパーソンを目標として、育成すべき人材像の明確化を図る必要がある。

イ 改善方策

ビジネス系については将来を見据えての情報の分析を行い、有用な人物像の確立と地域や社会のニーズに応えられる特色ある職業教育学科の開設を図る。

(2) 学校運営

評価項目	評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4・3・2・1
運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか。	4・3・2・1
人事・給与に関する規定等は整備されているか。	4・3・2・1
地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか。	4・3・2・1
情報システム化等業務の効率化が図られているか。	4・3・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4・3・2・1

ア 課題

事業計画、事業報告、各種諸規定等は作成・保管・整備されている。

イ 改善方策

自己評価を適正に行い、学校関係者評価を基に改善に取り組む。

報告・連絡・相談の徹底により危機管理能力を高め、また職員全員が情報を共有し、不測の事態に対しても迅速・適切・早期の対応を図る。

(3) 教育活動

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4・ <u>3</u> ・2・1
育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか。	<u>4</u> ・3・2・1
実践的な職業教育の視点に立ったキャリア教育がなされているか。	4・ <u>3</u> ・2・1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	<u>4</u> ・3・2・1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か。	4・ <u>3</u> ・2・1
人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか。	4・ <u>3</u> ・2・1
関連分野との連携において、優れた教員の確保が図られているか。	4・ <u>3</u> ・2・1
教職員の能力開発のための研修が行われているか。	4・ <u>3</u> ・2・1

ア 課題

教職員の入れ替わり時における教職員間の連携及び指導能力に注意を要する。

イ 改善方策

教職員の定着を図り指導力の向上を図るため、魅力ある職場環境づくりに努力する。

教職員を研修等に参加させ能力開発・スキルアップを図り、社会のニーズに対応した職業教育の実践を目指す。

(4) 学習成果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか。	<u>4</u> ・3・2・1
資格取得率の向上が図られているか。	4・ <u>3</u> ・2・1
退学率の低減が図られているか。	<u>4</u> ・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4・ <u>3</u> ・2・1

ア 課題

公務員就職内定率が昨年度実績を下回った。

イ 改善方策

公務員試験に関し、1次試験の獲得点数を多くする努力及び2次試験に向けた指導の強化が必要である。
卒業生の動向は同窓会等を活用により、活躍等の状況を把握に努める。

(5) 学生支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生に対する経済的支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4・3・2・1
高校・高等専修学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか。	4・3・2・1
保護者と適切に連携しているか。	4・3・2・1
卒業生への支援体制はあるか。	4・3・2・1

ア 課題

支援体制はスクールカウンセラー及びキャリアカウンセラーの設置により確立されている。また、就職部、キャリアサポート室、担任教員の関係により就職活動の状況及び受験結果の把握・フォローが成されている。

イ 改善方策

求人情報については、より一層の企業訪問・企業開拓の努力により充実した就職先企業の提供を図る。

(6) 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4・3・2・1
防災に対する体制は整備されているか。	4・3・2・1

ア 課題

学校施設は学生のニーズに対応している。

イ 改善方策

学生意見を取り入れ、より快適な教育環境の向上に取り組む。

災害発生時の対応要領の周知徹底及び災害時備品の定期的な確認を行う。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
学生募集は適切に行われているか。	4・3・2・1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか。	4・3・2・1

ア 課題

学生募集に関し、引き続き厳しい環境が続くことが予想される。

イ 改善方策

広報活動は、学校訪問、出前授業及び体験授業を引き続き行い学生募集に反映させるとともに、就職率・資格取得率の実績及び魅力をリアルタイムで積極的に部内外にアピールする。

(8) 財務状況

評価項目	評価
中長期的に学校の財務状況は安定しているか。	4・3・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4・3・2・1
財務について会計監査が適切に行われているか。	4・3・2・1
財務情報公開の体制整備はできているか。	4・3・2・1

ア 課題

私立学校法に基づき財務管理状況は適正に行われ、収入と支出のバランスがとれた財務内容となっている。

イ 改善方策

透明性ある定期の情報の公開により、安心して健全性を保持した学校運営を行う。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4・3・2・1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4・3・2・1
自己評価結果を公開しているか。	4・3・2・1

ア 課題

学校関係者評価を継続的に実施し、情報の公開に努める。

イ 改善方策

学校自己評価を適正に行い、学校関係者評価を真摯に受け止めて改善に取り組む。また、学校関係者評価歴（2年目）が浅い事から、より実効性のあるように評価項目等の見直しを実施し進化をさせていく必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4・3・2・1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4・3・2・1
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4・3・2・1

ア 課題

積極的なボランティア活動の参加が必要

イ 改善方策

ボランティア情報の提供及び社会に貢献する活動の啓蒙により、学生の意欲及び自主性を向上させ、積極的な参加・充実を促す。

5 総合評価

学生募集では前年度の就職実績の成果（公務員最終合格率73%）により、200名の入学予定者を確保できました。

ビジネス系学科の学生は、2年連続で就職内定率100%を果たしました。公務員系学科の学生は、昨年度の最終合格率を下回る結果となりました。今年度の結果等を踏まえ、原因の分析検討、対策の強化及び指導の徹底を図り、公務員合格率の向上に万全を期す所存であります。

教職員が学生の夢を叶えるため最大限の努力と、報告・連絡・相談の徹底に努め危機管理意識をもって、職務に邁進できるよう魅力ある職場環境づくりに努めてまいります。

本学の使命は「社会に有用な人材の育成」であり、引き続きふるさと福島の復旧・復興を担う若人の育成に努めます。